

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



1970 年（昭和 45 年）生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax : **0476-36-7802**

メール : iwai.yasunori@outlook.jp

〒270-1515 印旛郡栄町安食台 2-26-23（栄町役場前）



白井市“日本最大モスク計画”開発許可の可能性は

一部SNSで、「白井市に日本最大モスク計画」との情報が流れた問題。予定地は市街化調整区域であり、白井市の判断に関心が寄せられています。

●モスク建設で「体感治安」の悪化を懸念する声

モスク建設計画が持ち上がっているのは、船橋 C.C の北西にあたる、白井市河原子地区。20年以上も前から運営されている、既存モスクの裏手にある広大な敷地です。



発端となったX (旧 Twitter) 動画では、ムスリム (イスラム教徒) とおぼしき男性が、「この土地 (予定地) はモスク建設のために捧げられた」「このモスクが建てられれば、日本最大になる」「400台から 500 台の車が駐車できる (ほどだ)」と説明。また、背景には黄色の重機も映りこんでいて、既に整地作業に着手しているように見えます。

同地区は小規模な工場が立ち並び、民家が多いと言えないところですが、日本最大のモスクが建設されれば、特定地域の外国人が多く押し寄せてくることが予想され、埼玉県川口市のような「体感治安」の悪化を懸念する声が上がっています。

●調整区域にモスク その必然性は認められない

加えて問題なのは、モスク建設予定地が市街化調整区域であることです。市街化調整区域では原則と

して新たな開発行為は行えず、例外的に学校や保育園等の一部建物について、許可を得た上で建設できることとなっています。

では、社寺仏閣についてはどうかと言うと、

昔ながらの集落に信者や檀家がある中で、お寺の建物を新築するという場合、半径 1 キロ以内に 100 名以上の信者がいること等を要件として、許可を得た上で建設できるという制度が設けられていたりします。一方、白井市にはそのようなルールはなく、社寺仏閣についての開発許可申請があった場合は、市が「県の開発審査会にかけるか否か」を判断することとなるようです。

今回のモスク建設の場合、信者は檀家のような土着住民でないことは明らかで、市街化調整区域に建設する必然性は到底認められません。仮にモスク建設申請があったとしても、白井市として開発審査会にかけることはなく、つまりはモスク建設を許可することはないものと見られています。

ただし、市街化調整区域に建っている既存モスクのこれまでの経緯を見ると、法的手続きを経ずに着工されてしまう可能性がゼロとは言えないところです。白井市をはじめとする関係機関には引き続いての注視をお願いしたいと思います。



「モスク予定地」とされる場所

